

統合開発環境High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い --ツールチェインバージョン変更を行った場合--

High-performance Embedded Workshopの使用上の注意事項を連絡します。

- ツールチェインバージョン変更を行った場合の注意事項

1. 内容

ツールチェインバージョン変更を行ったとき、変更前に使用していなかった -noinline オプションが追加され、ビルドにより生成されるコードに影響を与える場合があります。

2. 発生条件

SuperH RISC engine ファミリー C/C++ コンパイラパッケージ V.5 で作成したプロジェクトを V.6 またはそれ以降のコンパイラパッケージにツールチェインバージョン変更を行った場合に、コンパイラオプションに -noinline オプションが追加されます。

例えば、コンパイラオプション -speed を使用しているプロジェクトのツールチェインバージョンを変更した場合、変更前はオプション -speed を使用していることにより、-inline=20 が指定されたときと同じく自動インライン展開が行われますが、変更後は -noinline オプション追加により、自動インライン展開が行われなくなります。

また、コンパイラオプション -speed を使用していないプロジェクトのツールチェインバージョンを変更した後で、-noinline オプションが追加されていることを知らずに -speed オプションを使用しても自動インライン展開を行わないコードが生成されるため、注意が必要です。自動インライン展開を行うようにするには、-noinline オプションを削除する必要があります。

3. 回避策

ツールチェーンバージョン変更を行った場合は、変更後のオプション設定を次の方法で確認してください。-noinlineオプションが追加されることでコードに影響が出る場合には、-noinlineオプションを削除してください。

確認方法：

ビルドメニューを開き、SuperH RISC engine Standard Toolchainコマンドを選択してSuperH RISC engine Standard Toolchainダイアログボックスを表示します。コンパイラ、アセンブラ、リンカなどのタブをクリックして、それぞれのオプション設定を確認してください。

4. 恒久対策

SuperH RISC engineファミリC/C++コンパイラパッケージの次バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。